

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こども支援ルーム宮の沢		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士6名が常勤で勤務し非常勤職員も教員免許を取得しております。このうち日本感覚統合学会の認定講習会を受講済の作業療法士が4名在籍しており小集団での感覚統合療法を受けることが出来ます。	お子さんの機能向上をメインに、早期療育に力を入れており、幼児の内に療育を開始し、就学前に終了することが目標です。	お子さんの意思を尊重しながら、楽しく活動に参加して、遊んでいる内に機能が向上し、お子さん及び保護者様の困り感がなくなることを目指しております。
2	病院やクリニックと同じ遊具や評価道具がそろっております。また、学習支援やビジョントレーニング、眼球運動機能向上の課題等も充実しております。	お子さんのアセスメントに基づいて、ライフステージを意識しながら、一番必要な支援方法を検討し実施しております。	必要な検査はすべて実施していきますので、常に新しい取り組みを意識しており、外部の作業療法士のアドバイスも受けております。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	すべての保護者様や関連機関との連携などは十分出来ていないところもあります。	利用児童数が多く、十分な支援が出来るスタッフの養成が追いついていないことやマンパワーの問題もあります。	日々のフィードバックや保護者様との面談の結果などを踏まえて必要に応じて、HUGのメッセージ機能なども活用して実施しております。
2			
3			